

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科 または コース	履修
農業	農業土木施工	3	2	食料環境科（環境系統）	選択

科目の ねらい	① 農業土木工事について興味・関心を持ち、実施方法についてその概要を理解する。 ② コンクリートの基本配合を学び、施工できる。 ③ 2級土木施工管理技術検定の受験に向けて学習を深める。
使用教材など	教科書「農業土木施工」（文部科学省）

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	28	第1章 農業土木事業の役割	◆ 農業土木とは何かを学ぶ。
	5		第1節 農業土木の意義と特質	◆ 農業土木の歴史を学ぶ。
	6		第2節 自然環境と農業土木工事	◆ 農業土木が地域にとってどのような役割を持つか理解する。
	7		第2章 施工計画の基本 第1節 施工計画の立案	◆ 農業鑑定競技に向け、専門知識を身につける。
二 学 期	8	47	第2節 仮設計画	◆ 工事の管理について理解し、工程、品質、安全の関係性が説明できる。
	9		第3章 工事の管理	◆ 土木材料の種類や掘削、運搬に適する機械について説明でき、土量の計算が出来る。
	10		第5章 農業土木工事の施工 第1節 農業土木材料	◆ コンクリートの配合設計が出来る。
	11		第2節 土工 第3節 コンクリート工	
三 学 期	12	25	第6節 植栽工	◆ コンクリートを使用した工事を安全に施工できる。
	1		第7節 農地整備の施工	
	2		第8節 いろいろな施工技術	

観点	a 関心・意欲態度	b 思考・判断・表現	c 技能	d 知識・理解
観 点 の 趣 旨	身近な土木構造物に対して関心を持ち、施工について疑問を自ら見出すことができる。	土木施工に対する疑問を常に持ち、自ら解決しようとする姿勢が見られる。	土粒試験やセメント試験、供試体の作成を通して、手順に従って施工することができる。	土木施工に関する幅広い知識を身に付け、状況にあった施工方法が選択できる。
評 価 方 法 主 たる	授業態度 ノート・プリント（記述点検）	行動の観察	土粒試験 セメントペースト コンクリート供試体	定期試験 小テスト
上記観点に基づき、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。				
評価項目・学習にあたって・評価点				
①定期テスト	1年に5回実施。普段の授業や課題に集中して取り組み復習して下さい。			70点
②ノート・プリント提出	授業中の板書を丁寧な字でちゃんとノートにとっていること。また、配布されたプリントを丁寧にまとめていること。これらを、定期テスト毎に点検するので、期限まで提出すること。			15点
③実習・授業態度	授業中に興味をもって聞き、しっかりノートを取ること。また、実習時は実習着を正しく着用し、集中して取り組むこと。授業中に質問し理解しているか確認するので答えられること。			15点